

午後の講座

*講座の末尾の番号は、全国学童保育連絡協議会が作成した「指導員の研修科目（試案）」に該当するものです。

● 入門講座

指導員として基本的な事項を学びます。

<p>1 学童保育とは何か、指導員の仕事・役割は何か 【講師】河野伸枝（全国学童保育連絡協議会） 学童保育は共働き、一人親家庭の親の労働を保障し、子どもたちの生活を守る場です。指導員は、日々の子どもたちの生活をつくることを通して、親が安心して働くことを保障しています。そのためには、子どもたちの信頼に応える力量や指導員としての職業意識も求められます。学童保育の仕事・役割、指導員である事から生じる倫理・モラルについて学びます。 I-1-④ III-1</p>
<p>2 学童保育の生活で大切にしたいこと 【講師】佐藤正美（さいたま市指導員） 子どもたちは放課後の時間を楽しくすごそうと学童保育に帰ってきます。また夏休みなどは朝から学童保育ですごします。指導員は、一人ひとりの子どもが安心してのびのび生活する場を子どもと一緒につくっていきます。学童保育の生活で大切にしたいこととは何か、指導員の関わり方を学びます。 II-1-①</p>
<p>3 学童保育の一日と指導員の仕事・毎日の実務 【講師】鈴木美加（全国学童保育連絡協議会） 新しい指導員は子どもと一日、どうすごせばよいか悩む方が多いのではないのでしょうか？宿題、おやつ、あそび等の流れをどう作るか、掃除・片づけや行事などのとりくみをどうするか、年間の流れ、一日の流れをどうつくるかを具体的に学びます。また、指導員の仕事は、保育以外に打ち合わせ等の事前準備、保育記録などの事後のこと、保護者や学校、行政との連絡などもあります。それらの実務についても学びます。 II-3</p>
<p>4 子どものケガ・事故への対応、安全管理 【講師】春口 類（埼玉県所沢市学童クラブの会） 毎日を安全に過ごすことは生活づくりの基本です。そのための安全管理は重要です。万一アクシデントが起こった場合でも、最小限のものとなるように、対応・対処をする必要があります。学童保育の現場でどんなケガや事故が起きやすいか、極力起こさないための安全管理、事後の対処などについて学びます。 II-2</p>
<p>5 日々の記録から実践の記録へ 【講師】前田明子（埼玉県富士見市指導員） 記録をもとに指導員同士で振り返えることにより、生活づくりを豊かなものにしていくための「手がかかり」が見えてきます。日常的な記録と討議は指導員の仕事として欠かせないものです。また、一定期間の記録をもとにした実践記録の作成・検討も大変有益な取り組みです。子どもをとらえ記録する視点、記録の作成と討議等を取り上げます。 V-1</p>

● 理論講座

子どものことをより深くとらえるために専門的に学びます。

<p>6 子どもの発達のしくみを学ぶ 【講師】高橋浩平（東京都公立小学校教頭） 指導員の仕事を進めるうえで、子どもを深くとらえることが求められます。今日、様々な要因から子どもたちが育ちそびれている実態がある中で、子どもをよりにていねいとらえることが求められています。学齢期の子どもの発達の特徴を理解する・今日の特徴を理解する。その上で、子どもたちの成長をどう促していくかを学びます。 III-2</p>
<p>7 障害のある子をどう理解するか 【講師】竹脇真悟（埼玉県特別支援学校教諭） 学童保育では障害児の受け入れの条件づくりにもとりくみながら、できる限り障害児入所のための努力を続けてきました。また友だちとの生活や関わり、指導員の適切なはたらきかけの中で障害児が育つことを確かめてきました。障害と障害児をどう理解するのか、生活づくりで配慮することなどを学びます。 III-4</p>
<p>8 LD、ADHD、高機能自閉症児の子どもたちの理解と支援 【講師】橋口亜希子（NPO法人えじそんくらぶ） 落ち着かない、ひとの話が聞けない、言葉の前に手が出てしまう。「ちょっと気になる子」と言われる子ども。「LD」「ADHD」と特別扱いすることにより解決することではありません。そうした子どもをどう理解し、支援していくか、学童保育の生活の中で何ができるかを考えましょう。 III-4</p>
<p>9 今日の子どもの心と身体 【講師】荒井育恵（大宮開成中学高等学校教諭） 子どもたちの身体のおかしさ、その心への影響が問題になっています。成長期にある子どもの心と身体について、食生活や生活リズムなど家庭や日常生活のあり方をとらえなおし、大切にしたいことを学びます。 III-6</p>
<p>10 子どもとのかかわり方 ～保健室の窓から～ 【講師】酒巻聖美（埼玉県公立小学校養護教諭） 「うざい！死ぬ！消えろ！」など言葉が荒い。すぐにキレル、手も出る。でも、家庭では「良い子」らしい？子どもたちは様々な思いをかかえて学童保育に通ってきています。「子どもの心によりそう」とは、「子どもの思いを受けとめる」とはどういうことか、そして指導員として子どもとどう関わっていくかを考えます。 III-6-③</p>

● 実践講座

指導員の仕事を実践的に学びます。

<p>11 学童保育の生活とあそび 【講師】下浦忠治（日本社会事業大学専門職大学院講師） 子どもにとってあそびは何かのためにするのではなく、それ自体が目的です。子どもたちは友だちとの関わりでいろいろなあそびを見つけ、また指導員もいろいろなあそびを子どもたちに伝え、一緒にあそんでいます。学童保育の中でのあそびの意味、どう展開していくか、指導員の配慮の仕方などを学びます。 IV-2</p>

申し込み用紙 第35回全国学童保育指導員学校（北関東会場）

氏名	(ふりがな)		性別	性	男	指導員歴	参加回数
				別	女		
受講票送り先	クラブ名			クラブ電話番号			
	(〒)		県		市・区・町・村		
* 受講票の送り先を学童クラブ以外にされる場合、送付を希望される住所と連絡先電話番号をご記入ください							
希望講座	第1希望()	第2希望()	第3希望()	※必ず第3希望まで記入			
弁当希望	有	無	保育希望	有()	※特記事項()		
来場手段	<input type="checkbox"/> 電車		<input type="checkbox"/> 車(運転・同乗・バス)		<input type="checkbox"/> その他()		

参加費 2,000 円 弁当代 700 円 計 () 円を添えて申し込みます。

* 駐車場確保の関係で来場手段をお聞きしています。現時点での見込みをご記入ください。
* 参加希望者が多い分科会については、参加者の振り分けをさせていただきます。

○このリーフレットは、埼玉県学童保育のホームページからもダウンロードできます（埼玉県学童保育連絡協議会、あるいは http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/）。申し込み用紙が足りない時など、ご活用ください。



<p>12 子どもの生活を保護者と伝え合う 【講師】西部涼子（栃木県那須塩原市指導員） 保護者は、わが子が学童保育に楽しく通い、育っている実感があって、初めて安心して働き続けることができます。学童保育での子どもたちの様子を保護者に伝えることは指導員の大事な仕事です。保護者と伝え合うことの重要性、何をどのように伝え合うのかを学びます。 IV-6</p>
<p>13 高学年を含めた生活づくり 【講師】土屋きみ子（高崎市指導員） 思春期前期にさしかかる高学年の子どもたちは心と身体に変化も始まります。高学年一人ひとりの子どもたちのおかれている状況や要求をとらえ、高学年を含めた生活づくりで、大切にしたいことを学びます。 III-5-②</p>
<p>14 障害のある子を含めた生活づくり 【講師】坂内亮司（さいたま市指導員） 障害児のいる学童保育は増えています。障害のある子どもが学童保育の仲間として、ともに育ちあうための生活づくりとは何か、自分の要求を表現し仲間と関わっていけるように、どのようなはたらきかけが求められるかを、具体的な実践から学びます。 III-4-③</p>

● 実技講座

生活づくりの中で行われているあそび等について実技の形で学びます。

<p>15 いっしょにあそぼう 【講師】山崎 茂（NPO法人山波川ふるさと児童館 あそびの学校主宰） あそびは、学童保育の生活の中心です。指導員は、どの子にとっても魅力ある生活の場になるよう様々なあそびや活動の選択肢を用意しておく必要があります。学童保育の中で楽しめる集団あそびのいくつかを参加者が実際にあそびながら学びます。 ※運動できる服装、運動靴でご参加ください。 IV-3</p>
<p>16 つくってあそぼう 【講師】坪 好子（埼玉県所沢市指導員） 室内での楽しいあそびの一つは、材料をもとに何かを作り出すあそびです。参加者自身がいくつかの手作り工作を実際に作りながら学びます。 ※材料費を別途いただきます。 IV-3</p>

● 運動に関わる講座

学童保育をめぐる情勢と課題、指導員の労働条件改善など運動に関わる問題を考えます。

<p>17 学童保育と指導員をめぐる情勢と課題 【講師】木田保男（全国学童保育連絡協議会） 政府は、「子ども・子育てビジョン」を策定し、学童保育の利用児童を5年間で30万人増やす、「放課後児童クラブガイドラインを踏まえ、質の向上を図る」方向を明らかにしています。その一方、保育所制度については、公的な専任を後退させる方向の制度改革を進めようとしています。学童保育をめぐる情勢が大きく変化しつつある今、国や自治体の動向と課題を学びます。 I-1-2</p>
--